

# 11. 滋賀県における未熟児の研究（第3報）

滋賀県立短大 佐藤美智恵

1. 本県の乳児死亡率は比較的高率を示しているため諸種の未熟児対策の資料を得るため本調査を行った。第1報においては、未熟児出現頻度とその死亡率等について報告し、第2報においては母の年令別、並びに出生順位別の未熟児出現頻度等について報告した。今回は幼児期の身体発育並びに精神発育に関する調査結果を報告する。

2. 大津市、並びに彦根市所在の幼稚園及び保育園に在園する幼児についてその心身発育状態を成熟児と比較しつつ調査した。また在宅児としては県立児童相談所、来所児について調査を行った。

3. 在園児においては成熟児に比して身体並びに精神発育状態は両者の間に甚しき差違を認められなかった。在宅児においては成熟児に比し身体並びに精神発育状態はやや劣る傾向が認められた。